

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
ヘルスプロモーション 特論	2 単位 30 時間(15 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 後期開講	☒ 可・不可
科目責任者	古川 照美		
担 当 者	竹林 正樹（非常勤）、反町 吉秀（非常勤）、安永 明智 倉内 静香（非常勤）、平野 貴大		
1. 科目のねらい・目標			
ねらい：ヘルスプロモーションの原理、方法、評価法についての理解を深化させ、国内外の実践的活動から健康課題解決につながる方策について検討する。			
目標：既知のヘルスプロモーションの原理、方法、評価法について確認でき、更なる方法、評価法や健康課題解決につながる方策について検討できる。			
2. 授業計画・内容			
(竹林) ヘルスプロモーションの原理、方法、評価法 （3 コマ）			
ヘルスプロモーションの基本			
健康行動とヘルスリテラシー			
地域・職域・学校におけるヘルスプロモーション活動			
ヘルスプロモーションに関する近年の研究動向			
(反町) セーフティプロモーションの理論 （4 コマ）			
セーフティプロモーションとしてのこどもの傷害予防対策			
セーフティプロモーションとしての飲酒対策・依存症対策			
(安永) 身体活動の活性化、座位行動の減少に向けたヘルスプロモーション活動 （3 コマ）			
子供・青少年を対象としたプロモーション活動			
成人・高齢者を対象としたプロモーション活動			
身体活動不足と座りすぎの解消に向けた方策の検討			
(倉内) 地域組織活動とヘルスプロモーション （3 コマ）			
健康課題解決につながる方策の検討			
(平野) ヘルスプロモーションとコミュニケーション （2 コマ）			
事実にもとづき詳細に状況を聞き取る質問の技法、対話をエンパワメントにつなげる方法、地域医療実践における活用事例			
3. 教科書、参考書			
特になし			
4. 成績評価方法			
授業への参加度、ディスカッションなどを勘案し、各担当教員 20%評価で、総合的に評価します。			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
実践活動に活かせるような内容にします。			
7. その他			
オンデマンド開講可。講義欠席の場合には、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなします。			